

評価機構

2025

9

月号

NEWS LETTER

～日本医療機能評価機構 設立30周年記念式典を開催～

特 集

信頼できる医療情報・診療ガイドラインの
活用促進に向けた取り組み



人の安心、医療の安全 JQ
公益財団法人 日本医療機能評価機構
Japan Council for Quality Health Care

～日本医療機能評価機構 設立30周年記念式典を開催～

本年7月27日、日本医療機能評価機構は設立30周年という節目を迎えました。これを記念し、7月25日（金）17時30分より、東京・銀座の交詢社にて「設立30周年記念式典」を開催いたしました。当日は、約150名の方にご臨席いただき、厳かでありながら温かみのある雰囲気の中で執り行われました。

式典は、上田茂専務理事の開式の辞により開会し、続いて河北博文理事長が挨拶を行いました。理事長挨拶では、1995年の設立以来の歩みを振り返るとともに、評価機構が取り組んできた病院機能評価事業などの各種事業が社会に果たしてきた意義について改めて言及し、医療の質と安全の向上に寄与する第三者機関としての責務をこれからも果たしていく決意を述べました。

来賓として福岡資麿厚生労働大臣、松本吉郎日本医師会会長にご挨拶をいただき、評価機構のこれまでの取り組みへの謝意と、今後の更なる飛躍への期待をお話いただきました。いずれのご挨拶も、医療における第三者機関としての評価機構の信頼性と存在価値を強調されていました。

乾杯の発声は、井原哲夫前理事長が務め、評価機構をご支援いただいた皆様への謝意が述べられ、評価機構へ温かいエールが贈られました。その後は和やかな歓談の時間が設けられ、会場では旧交を温める姿や、新たな連携に向けた前向きな対話が交わされていました。

そうした歓談の中で、河北理事長より、今後の方向性を展望するものとして「将来へのメッセージ Vol.2 ～自由と規律から考える未来の医療～」が公表されました。医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、医療の質の向上を柱に据えた取り組みの継続が重要であることを示して、関係者に共有と理解を図る機会となりました。

式典の終盤では、橋本廸生常務理事の閉式の辞により、30年の歩みを胸に刻みながら、未来に向かって力強く進んでいく決意を改めて述べました。

なお、当日の概要につきましては、現在編集集中の「日本医療機能評価機構30年史」に収録予定です。

設立30周年という大きな節目を迎えた今、評価機構は国民が安全で質の高い医療を享受できる社会の実現に向けて、これからも進化を続けてまいります。



河北理事長挨拶



福岡厚生労働大臣（右）松本日本医師会会長（左）

信頼できる医療情報・診療ガイドラインの活用促進に向けた取り組み

EBM医療情報事業（Minds）は、質の高い診療ガイドラインを中心とした信頼できる医療情報の普及を通じて、患者と医療者の意思決定を支援することを目的としています。「Minds（マインズ）」という言葉は、「Medical Information Distribution Service」の頭文字に由来し、本事業の通称として用いられています。

Mindsは2002年度に厚生労働科学研究費補助金により事業を開始し、2011年度からは厚生労働省委託事業（EBM（根拠に基づく医療）普及推進事業）として運営しています。

本事業の取り組みを通して、Mindsでは、診療ガイドラインの作成者と利用者をつなぐ役割を果たしていきたいと考えており、診療ガイドラインの「評価選定・公開」「作成支援」「活用促進」の3つを柱として、事業を推進してきました。2025年度からは、日本医療機能評価機構として、作成支援の一部を有料事業として新たに開始いたします。

さらに、新しい取り組みとして、2025年度から、「費用対効果評価と診療ガイドラインのあり方」について、関係団体とともに多角的な検討を開始いたします。

診療ガイドラインの役割の拡大

診療ガイドラインとは、科学的根拠（エビデンス）等に基づいて最適と思われる治療法等を提示する文書のことで、患者と医療者が治療法等を決定する際の重要な判断材料の一つとなります。近年、診療ガイドラインの扱う領域が、疾患の治療から、治療に限らない、予防・健康づくり、健診・検診、リハビリテーション、看護・介護介入、保健指導、社会的支援等、幅広い内容に広がりをみせています。

このような状況を受け、Mindsでは、従来は診療ガイドラインが作成されなかったテーマ領域においても、信頼できる医療情報が発信できるよう、課題や対応策をまとめた上で、作成者と利用者を継続的に支援してまいります。

診療ガイドラインの評価選定・公開

Mindsでは、わが国で作成・発行された診療ガイドラインを収集し、評価選定を経て、診療ガイドラインデータベース「Mindsガイドラインライブラリ」に掲載することで、誰でも無料で診療ガイドラインを閲覧できる情報環境を整備しています。Mindsガイドラインライブラリには、

2025年7月現在、460件以上の最新版の診療ガイドライン情報が掲載されており、疾患名やキーワード、カテゴリーやハッシュタグによって、検索・閲覧することができます。以下に2024年度に新たに本文が公開された診療ガイドラインを一覧にてご紹介いたします。

診療ガイドラインの作成支援

わが国の医療環境に適した診療ガイドライン作成方法を提案し、「診療ガイドライン作成マニュアル」等の作成方法に関する情報や作成支援ツールを開発・提供しています。2025年度からは、作成団体のニーズに合わせた作成支援サービス（セミナー・個別支援）を有料事業として新規に展開いたします。

診療ガイドラインの活用促進

診療ガイドラインの意義や目的と合わせて活用方法が正しく理解されるような周知・広報を患者や医療者をはじめ、広く国民に向けて継続的に行ってまいります。

開拓的な取り組みとしては、診療ガイドラインの標準化・電子化を推進し、電子カルテをはじめとする医療情報システムとの連携や診療ガイドラインの作成・活用の両面におけるAIの導入についても取り組んでまいります。

【2024年度に本文を掲載した診療ガイドライン一覧（57件）※掲載日順】

1. 腸回転異常症診療ガイドライン【詳細版】
2. 高齢者糖尿病診療ガイドライン2023
3. 内分泌非活性副腎腫瘍診療ガイドライン2022年版
4. 妊娠糖尿病既往女性のフォローアップに関する診療ガイドライン
5. 顎関節症初期治療診療ガイドライン2023 改訂版
6. インプラント義歯装着者の機能評価のガイドライン
7. ニーマンピック病C型（NPC）診療ガイドライン2023
8. Clostridioides（Clostridium）difficile感染症診療ガイドライン2022
9. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン 追補版
10. 成人スチル病診療ガイドライン 2017年版【2023年Update】
11. JRC蘇生ガイドライン2020
12. Onco-cardiology ガイドライン
13. エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2023
14. がんサバイバーの慢性疼痛治療に関するステートメント
15. 間脳下垂体機能障害と先天性腎性尿崩症および関連疾患の診療ガイドライン2023年版
16. 歯周病患者における再生療法のガイドライン2023
17. 小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2023
18. 便秘異常症診療ガイドライン2023—慢性下痢症

19. 便通異常症診療ガイドライン2023—慢性便秘症
20. 慢性活動性EBウイルス病とその類縁疾患の診療ガイドライン2023
21. 結節性硬化症に伴う腎血管筋脂肪腫診療ガイドライン 2023年版
22. 尋常性痤瘡・酒皰治療ガイドライン2023
23. 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン (2023) —2 褥瘡診療ガイドライン (第3版)
24. 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン (2023) —3 糖尿病性皮膚潰瘍・壊疽診療ガイドライン (第3版)
25. 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン (2023) —4 膠原病・血管炎にともなう皮膚潰瘍診療ガイドライン (第3版)
26. 小児痙縮・ジストニア診療ガイドライン2023
27. HTLV-1キャリア診療ガイドライン2024
28. 障害者歯科診療における行動調整ガイドライン2024
29. 日本版重症患者リハビリテーション診療ガイドライン2023
30. 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 診療ガイドライン2023
31. 重症筋無力症／ランバート・イートン筋無力症候群診療ガイドライン2022
32. 制吐薬適正使用ガイドライン 2023年10月改訂 第3版
33. 腎盂・尿管癌診療ガイドライン2023年版
34. がん治療におけるアピアランスケアガイドライン 2021年版
35. 多発性硬化症・視神経脊髄炎スペクトラム障害診療ガイドライン2023
36. 産婦人科診療ガイドライン—産科編2023
37. 産婦人科診療ガイドライン—婦人科外来編2023
38. 気管吸引ガイドライン2023 [改訂第3版] (成人で人工気道を有する患者のための)
39. 先天性サイトメガロウイルス感染症診療ガイドライン2023
40. 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン (2023) —5 下腿潰瘍・下肢静脈瘤診療ガイドライン (第3版)
41. 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン (2023) —6 熱傷診療ガイドライン (第3版)
42. メニエール病・遅発性内リンパ水腫診療ガイドライン2020年版
43. 前庭神経炎診療ガイドライン 2021年版
44. 泌尿器科領域における周術期感染予防ガイドライン2023
45. 緑内障診療ガイドライン (第5版)
46. 2024年改訂版 多様性に配慮した循環器診療ガイドライン
47. 甲状腺腫瘍診療ガイドライン2024
48. 肺癌診療ガイドライン—悪性胸膜中皮腫・胸腺腫瘍含む 2023年版 (掲載後に旧版化)
49. 尿路結石症診療ガイドライン 第3版
50. 膀胱癌診療ガイドライン2019年版 [増補版]
51. ARDS診療ガイドライン2021【詳細版】
52. 小児IgA血管炎診療ガイドライン2023
53. 2023年版 技術認定取得者のための内視鏡外科診療ガイドライン
54. ANCA関連血管炎診療ガイドライン2023
55. 関節リウマチ診療ガイドライン2024改訂 一若年性特発性関節炎 少関節炎型・多関節炎型診療ガイドラインを含む
56. 歯髄保護の診療ガイドライン
57. がん薬物療法に伴う末梢神経障害診療ガイドライン2023年版

医療安全文化調査システムが新しくなりました（評価事業推進部 企画課）

医療安全文化調査は、組織の安全文化を視える化するツールです。2025年7月1日より、「医療安全文化調査項目Ver.2.0（日本語版）」を用いて調査可能な新システムを公開しました。従来のシステムと比較して、より直感的でスムーズに回答できるよう工夫されています。また、2024年度の医療安全文化調査には103病院にご参加いただきました。参加病院の増加はベンチマーク結果の価値向上につながります。ベンチマーク結果と比較して自院の強みや課題を把握することが改善活動の第一歩です。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

URL：https://www.jq-hyouka.jcqhc.or.jp/psc_list/



病院機能改善支援セミナー【総合】 録画配信のご案内（評価事業推進部 支援課）

病院機能改善支援セミナー【総合】をWEBにて録画配信します。病院機能評価について、サーベヤーによる受審ポイント解説、受審した病院の体験談などをご視聴いただけます。

■8月1日開催 2025年度 第1回 病院機能改善支援セミナー【総合】

対象：機能種別 一般病院3以外の全ての病院

配信期間：2025年9月16日～2026年1月末日（予定）

■9月12日開催 2025年度 病院機能改善支援セミナー【総合】（一般病院3）

対象：機能種別 一般病院3の病院

配信期間：2025年10月～2026年3月末日（予定）

※視聴費用は、各27,500円（税込）です。

※詳細および申込は、病院機能評価事業のホームページの「セミナー情報」よりご確認ください。



認定病院患者安全推進協議会（PSP）が行うフォーラムのご案内 （教育研修事業部 認定病院患者安全推進課）

病院機能評価の認定病院の6割以上が参加している「認定病院患者安全推進協議会」（PSP）では、会員病院向けにさまざまなコンテンツを提供しています。

そのなかのひとつが、日本の各地で開催する「患者安全推進地域フォーラム」です。開催地域において患者安全推進をより進めていくきっかけとして活用していただくために、同フォーラムは会員外の病院の方も含めて広くご参加を呼び掛けています。2025年度は、15年ぶりに長崎県にて開催する運びとなりました。県外の方ももちろんご参加いただけます。ぜひ皆様、連休を利用して長崎観光も兼ねてお出かけください。

2025年度 患者安全推進地域フォーラムin長崎（幹事病院：日本赤十字社長崎原爆病院）

開催日：2026年1月10日（土）午後（午前中はPSP会員病院を対象とした病院見学を開催予定）

場 所：長崎新聞文化ホール（長崎県長崎市）

テーマ：パシエントハラスメントと医療安全

このほか年度末には、PSPの年間活動報告とする「患者安全推進全体フォーラム」をオンラインにて開催します。

2025年度 患者安全推進全体フォーラム

開催日：2026年3月7日（土）午後

これらの開催概要詳細・申込方法などは、協議会ホームページで随時ご案内いたします。ご参加をお待ちしています。（<https://www.psp-jq.jcqhc.or.jp/>）

イベント情報

各種セミナーをWeb配信（録画型）やウェビナー（リアルタイム型）等で提供しています。詳細・お申し込みは、下記URLもしくはQRコードからWebサイトにアクセスしてご確認ください。

	事業	開催日/視聴期間	イベント名
動画配信	評価	お申込みから2年間	病院機能改善支援セミナー【項目編】
動画配信	評価	お申込みから2年間	病院機能改善支援セミナー【審査当日編】
動画配信	評価	お申込みから2年間	病院機能改善支援セミナー【一般病院3】
動画配信	評価	視聴期間／お申込みから2026年1月末日まで（予定） 申込期間／2025年9月16日～	2025年度 第1回 病院機能改善支援セミナー【総合】
動画配信	評価	視聴期間／お申込みから2026年3月末日まで（予定） 申込期間／2025年10月～（予定）	2025年度 病院機能改善支援セミナー【総合】 （一般病院3）
セミナー	評価	開催日／2026年2月（予定）	2025年度 第2回 病院機能改善支援セミナー【総合】（東京）
セミナー	教育	開催日/2025年4月～ 申込期間/2025年2月～	2025年度 医療対話推進者養成セミナー （年7回開催予定）
セミナー	教育	開催日/2025年6月～ 申込期間/2025年3月～	2025年度 クオリティマネジャー養成セミナー （年2回開催予定）
セミナー	教育	開催日/2025年4月～ 申込期間/2025年2月～	2025年度 JQ医療安全管理者養成研修 （年6回開催予定）
セミナー	教育	開催日/調整中 申込期間/2025年4月～	2025年度 医療安全マスター養成研修 （年1回開催予定）
セミナー	教育	開催日/2025年4月～ 申込期間/2025年2月～	2025年度 医療エグゼクティブ・オフィサー養成セミナー （年1回開催予定）
イベント	PSP	2026年3月7日 13:00 ～	2025年度 患者安全推進全体フォーラム
プロジェクト 申込	QI	～2025年11月30日	2025年度医療の質可視化プロジェクト
動画配信	QI	随時	第5回 医療の質向上のためのコンソーシアム【録画】

病院機能評価事業のイベント情報
https://www.jq-hyoukajcqh.or.jp/event_calendar/



認定病院患者安全推進協議会のセミナー情報
https://www.psp-jqjcqh.or.jp/seminar_calendar/



EBM医療情報事業（Minds）Mindsガイドラインライブラリ
<https://minds.jcqh.or.jp/>



医療の質向上のための体制整備事業（QI）
 2025年度 医療の質可視化プロジェクト
https://jq-qconf.jcqh.or.jp/event/kashika_project_2025/



教育研修事業のセミナー情報
<https://jq-edu.jcqh.or.jp/>



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

患者安全推進ジャーナルのご案内 (教育研修事業部)

評価機構の認定病院患者安全推進協議会が発行している機関誌です。

最新号 No.80 (6 月発行) 特集「外来における医療安全を考える」では、外来における、転倒／急変時初期対応／検査予約業務タスクシェア／透析患者向け文書／安全文化醸成の実例を紹介しています。

【今後の発行予定】

No.81 (9 月下旬発行予定) 特集「周術期の安全管理」(仮題)

患者安全推進ジャーナルのご案内

●会員病院 (毎号 3 冊を無料で送付いたします)

追加の冊数をご希望の方は、認定病院患者安全推進協議会のホームページより会員サイトにログインしてお申し込み下さい。会員価格は、1 冊あたり 1,100 円 (税込) です。

また、毎回、一定の冊数の追加をご希望の場合は、予め追加冊数を 1 冊単位で指定していただく「年間追加購入」のお申し込みができます。10 冊単位で年間追加購入をいただく場合は、最大 50% の割引となります。

詳細は、協議会ホームページをご覧ください。

(<https://www.psp-jq.jcqh.or.jp/journal/>)

●会員外の病院 (1 冊あたり 3,300 円 (税込))

評価機構ホームページ「出版・ダウンロード」からお申し込みください。

編集後記

例年にも増して厳しい暑さが続き、季節の感覚が少し曖昧に感じられる今日この頃。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。朝晩にわずかながら変化の気配を感じることもありますが、日中はまだまだ油断ならない暑さが続いています。体調を崩しやすい時期でもありますので、無理をせず、ご自身のペースを大切にお過ごしください。目まぐるしく変わる日々のなかでも、小さな楽しみや静かなひとときを見つけながら、心と身体に優しい時間を持てますように。皆さまの健やかな日々を心より願っております。

医療安全情報の公表 (医療事故防止事業部)

医療事故情報収集等事業では、以下の医療安全情報を提供しました。

● No.224

「退院時の処方漏れによる内服の中断」(7 月)

● No.225

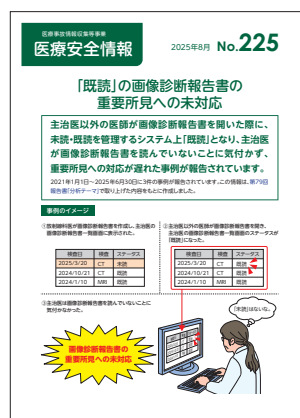
「「既読」の画像診断報告書の重要所見への未対応」(8 月)

詳細は、本事業ホームページからご覧ください。

<https://www.med-safe.jp/>



No.224 (1 ページ目)



No.225 (1 ページ目)

評価機構

NEWS LETTER 2025年9月1日発行

発行：公益財団法人日本医療機能評価機構 (略称：評価機構)

発行責任者：河北 博文

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 1 丁目 4 番 17 号 東洋ビル

TEL：03-5217-2320 (代) / (編集：総務部)

<https://jcqh.or.jp/> e-mail: info@jcqh.or.jp

本誌掲載記事の無断転載を禁じます